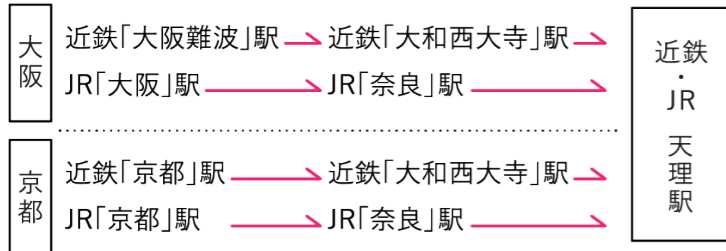


会場 なら歴史芸術文化村 交流賑わい棟 2F 多目的室

電車でお越しの方 **最寄駅** 近鉄・JR「天理」駅



※天理駅からシャトルバス運行または、奈良交通バス「勾田（まがた）」下車徒歩 15 分

シャトルバスについて 要予約・有料

詳細は右記 QR より WEB をご参照ください。

〈シャトルバス電話予約〉050-2018-0107



車でお越しの方

名阪国道でお越しの場合は、天理 IC もしくは天理東 IC より（駐車台数：80 台）



なら歴史芸術文化村



入館料
無料

（イベントにより別途有料の場合も有）

なら歴史芸術文化村は、2022 年 3 月にオープンした、歴史、芸術、食と農など、奈良県の誇る文化に触れることができる施設です。日本で初めてとなる文化財 4 分野（仏像等彫刻、絵画・書跡等、歴史的建造物、考古遺物）の修復作業現場の公開や、アーティストとの交流、子どもを対象としたアートプログラムなどを実施しています。単に見学する、一方向の解説を聞くことだけで終わらず、専門家や他の参加者と対話しながら知的好奇心を広げて学びを深めるラーニングプログラムを実践。五感で感じ、さまざまな人と関わり、体験して、「なぜ？」という新たな問いを生み出すことを大切に、知を探究していく楽しさを提供する施設です。

〈公式 HP〉<https://www3.pref.nara.jp/bunkamura/>

開館時間：9:00～17:00

※レストランと貸館は 9:00～20:00
※にぎわい市場と文化村工芸館は 9:00～18:00
※情報発信棟トイレと授乳室は 24 時間

休館日：月曜日

※月曜日が休日の場合は翌平日が休館
※交流にぎわい棟は営業
※情報発信棟トイレを除き 12 月 28 日～翌年 1 月 4 日は休館



How to apply ワークショップ申込方法 Contact お問い合わせ先

下記 HP よりお申し込み下さい。
<https://dan-dan.com/nara-kogeiws2022/>



申込締切：2022 年 9 月 14 日 17:00

※応募者多数の場合は、抽選となります。参加の決定連絡は、申込締切後、9 月 16 日までにご連絡します。

※1 回の申込で最大 4 名まで一緒に申し込みいただけます。

じっくり伝統工芸 WS
in なら歴史芸術文化村事務局

（株式会社ダン計画研究所内担当：椎本・新井・河野）

TEL：06-6944-1173（平日 10 時～17 時）

じっくり 伝統工芸 ワークショップ IN なら歴史芸術文化村

奈良の伝統工芸品の概要や製造工程の紹介、製作体験・使用体験など、1 日かけてゆっくりじっくり学ぶワークショップです。

Workshop Schedule

- | | | | | |
|--------|-------|---|----------------------------|--------------------|
| 2022 年 | 9/27 | 火 | あかはだやき
赤膚焼体験 | 手ひねり・絵付け体験、赤膚焼ミニ講座 |
| | 10/25 | 火 | たかやまちゃせん
高山茶釜・奈良晒体験 | 茶釜糸掛け・お抹茶体験、奈良晒講座 |
| | 11/22 | 火 | ならふで
奈良筆・奈良墨体験 | 筆作り・にぎり墨・書道体験 |
| 2023 年 | 1/21 | 土 | よしのてすきわし
吉野手漉き和紙・奈良表具体験 | 和紙製作・表装体験、文化村見学 |

〈会場〉なら歴史芸術文化村 交流にぎわい棟 2F 多目的室（奈良県天理市杣之内町 437-3）

〈対象者〉中学生以上

じっくり伝統工芸ワークショップ IN なら歴史芸術文化村

申込方法は裏面へ

1 9/27 赤膚焼体験

あかはだやき

参加費：¥6,000 定員：16名

赤膚焼の体験プログラムです。午前は、粘土を指先で伸ばしながら形を整えて製作する手ひねり体験です。お皿、お抹茶茶碗、鉢の中から1点製作いただきます。午後は素焼きしたお皿に絵付けを体験していただきます。体験プログラムの始めには、赤膚焼の由来やその特長を解説するミニ講座も開催します。

※当日製作する赤膚焼は、窯で仕上げ、素焼き・本焼き工程を経て後日ご自宅にお送りします。(送料は参加費に含まます)

講師	
赤膚焼窯元 大塩 玉泉氏 (伝統工芸士)	関西大学 名誉教授 高橋 隆博氏
赤膚焼窯元大塩玉泉窯では70年余り、伝統工芸を守りつつ新しい作品に取り組む。一つ一つの作品を丁寧に、心をこめて作り上げる事を第一としている。	奈良県立美術館学芸員、帝塚山短期大学、関西大学文学部での教授を経た後、関西大学博物館長を務めた。2016年関西大学にわ大阪研究センター特別顧問に就任。専門は美術工芸史。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

10:00~10:10	オリエンテーション
10:10~10:50	赤膚焼ミニ講座
11:00~12:40	赤膚焼 手ひねり体験
12:40~13:40	昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
13:40~15:40	赤膚焼 絵付け体験
15:40~16:00	体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。
■ 参加費は受付時に徴収いたします。

3 11/22 奈良筆・奈良墨体験

ならふで ならすみ

参加費：¥4,000 定員：20名

奈良筆と奈良墨の体験プログラムです。午前の奈良筆体験では、筆軸くり込み工程から穂首の仕上げ体験、午後の奈良墨体験では、生の墨を手で握って作る「にぎり墨」を製作します。また、午前に製作した奈良筆や奈良墨を使って書道体験も予定しています。

※当日製作する奈良筆・奈良墨はお持ち帰りいただけます。

講師	
奈良筆田中 田中 千代美氏 (伝統工芸士)	錦光園 長野 睦氏
筆作りに携わるようになり約40年。奈良時代から培われた伝統技法にて、奈良筆作りに取り組む。	錦光園7代目墨匠。代々100年以上に渡り、伝統を守り昔ながらの製法のまま、一つ一つ手作りで良質の「奈良墨」を作り続ける。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

10:00 ~ 10:10	オリエンテーション
10:10 ~ 11:50	奈良筆作り体験
11:50 ~ 12:50	昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
12:50 ~ 14:40	奈良墨 にぎり墨体験
14:50 ~ 15:40	書道体験
15:40 ~ 16:00	体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。
■ 参加費は受付時に徴収いたします。

2 10/25 高山茶釜・奈良晒体験

たかやまちゃせん ならさらし

参加費：¥4,000 定員：16名

高山茶釜と奈良晒の体験プログラムです。午前は高山茶釜の糸掛け体験、午後は、高山茶釜で点てるお抹茶体験と奈良晒に触れる・学ぶ奈良晒講座を開催します。機織り機の実演もご覧いただく予定です。

※当日製作する高山茶釜はお持ち帰りいただけます。

講師	
奈良県 高山茶釜生産共同組合	岡井麻布商店 岡井 孝憲氏 (伝統工芸士)
奈良県高山茶釜生産共同組合は、室町時代より約500年の歴史を持つ高山茶釜の伝統を守り、次の世代へ伝えることを目的に昭和36年に設立。若手後継者への技術指導、各地で開催される伝産関係のイベントへの参加、伝統的工芸品教育事業(体験・実演)等に取り組む。	江戸時代の1863年から続く岡井麻布商店5代目。20歳の時から麻織物に携わる。昔ながらの製法で、手織り機で織り上げて商品を作る。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

10:00 ~ 10:10	オリエンテーション
10:10 ~ 11:50	高山茶釜糸掛け体験
11:50 ~ 12:50	昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
12:50 ~ 14:00	お抹茶体験
14:10 ~ 15:40	奈良晒講座
15:40 ~ 16:00	体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。
■ 参加費は受付時に徴収いたします。

4 1/21 吉野手漉き和紙・奈良表具体験

よしのてすきわし ならひょうぐ

参加費：¥4,000 定員：16名

吉野手漉き和紙と奈良表具の体験プログラムです。手漉き和紙製作体験では、手漉き和紙の原料を紹介しながら、楮剥ぎなども含めた製作工程の一部を体験していただきます。奈良表具体験では、表装の工程の一部である裏打ちを体験していただきます。昼食後には、文化村の方に文化財修復・展示棟について紹介していただくミニツアーを予定しています。

※当日製作する手漉き和紙は後日ご自宅にお送りします。(送料は参加費に含まます)

講師	
植和紙工房 植 浩三氏 (伝統工芸士)	森本表具店 森本 武氏 (伝統工芸士)
100年以上前から、現在も昔ながらの手作業で漉き上げる植和紙工場の6代目。原料の楮(こうぞ)から自分で育てて和紙づくりをおこなっています。	奈良表具で日本の文化を守りたいという想いを持ち、伝統的な技術・技法を守りながら、県内外の有名神社仏閣での、掛け軸・屏風・額・襖等の修理・修復事業にも携わる。

PROGRAM (予定) 10:00 ~ 16:00

10:00 ~ 10:10	オリエンテーション
10:10 ~ 11:50	手漉き和紙製作体験
11:50 ~ 12:50	昼食休憩 ※昼食は各自ご準備下さい。
12:50 ~ 13:40	文化財修復・展示棟ミニツアー
13:50 ~ 15:40	奈良表具 表装体験
15:40 ~ 16:00	体験振り返り・アンケート記入

〈その他〉 ■ 汚れても良い服装でご参加ください。
■ 参加費は受付時に徴収いたします。

知っていますか？

ならの伝統工芸品

奈良県内には長い歴史の中で培われた、優れた伝統工芸品が数多く伝えられていて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれています。本ワークショップで体験いただく伝統工芸品の概要は右記をご覧ください。



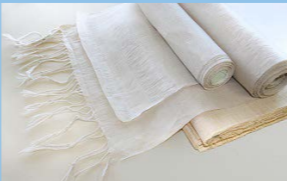
赤膚焼

赤膚大和郡山城主の豊臣秀長が常滑の陶工を招いて窯を築いたのが始まりといわれています。乳白色の柔らかい風合いと奈良絵文様が特徴で、湯呑、花瓶、茶器、水指、置物など多様な作品が作られています。



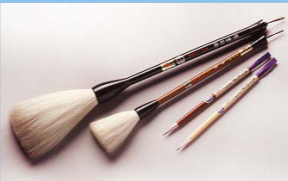
高山茶釜

室町時代、大和鷹山(現生駒市)城主の次男、鷹山民部丞(たかやまみんぶのじょう)入道宗(にゅうどうそう)砌(ぜい)が現在の形を初めて作ったといわれ、村田珠光から千利休へと茶道の隆盛とともに茶釜作りが盛んとなりその技術が代々伝承されてきました。



奈良晒

青苧(あおそ)、苧(ちょ)、麻(ま)、精麻(大麻)を紡いで糸にし、手織りした麻布(生平)を真白く晒したものです。現在は、生成り麻布に正倉院文様などを染めたのれん、テーブルクロスなどの室内装飾品が作られています。



奈良筆

僧空海が中国から筆の製法を持ち帰り、奈良で製造されるようになったのが始まりといわれています。毛質に応じて配分・寸法を決めて混ぜ合わせ、毛組みに時間をかける「練り混ぜ法」により、穂先の仕上がりに絶妙な味がある高級毛筆が作られています。



奈良墨

奈良墨は奈良市で生産されている墨です。明日香の地で始まったとされ、都が京都へ移ってから奈良には多くの寺社があることから、写経や学問に必要な墨の工房が奈良に留まりました。奈良県奈良市にある興福寺二諦坊の燈明の煤を集めて作ったとされている油煙墨が、良質な「奈良墨」として名声を得て以降、現在まで長い伝統を保持しています。



吉野手漉き和紙

吉野宇陀紙、美栖紙、国栖紙とも呼ばれています。優れた風合いとねばりの強さが特徴です。書や経巻の表装に始まり、絵巻物や掛け軸、屏風、襖など「床の間」文化の発達に伴い表装技術も発展してきました。奈良表具は、奈良時代に始まった表装技術を受け継ぎ発展させ、継承してきており、現代では歴史的価値のある書や古文書等の修復などにも用いられています。



奈良表具

表装技術は仏教とともに飛鳥時代に日本に伝わり、奈良時代には表具師という仕事に日本史に登場します。書や経巻の表装に始まり、絵巻物や掛け軸、屏風、襖など「床の間」文化の発達に伴い表装技術も発展してきました。奈良表具は、奈良時代に始まった表装技術を受け継ぎ発展させ、継承してきており、現代では歴史的価値のある書や古文書等の修復などにも用いられています。